

議会だより はこね

主な
内容

- 一般質問 P 2～7
- 常任委員会（合同審査） P 7
- 6月定例会・賛否 P 8～9
- 委員会活動報告 P 9～10
- 議員活動報告 P 11～13
- 議長フォトレポート・9月定例会の日程 P 13
- 議会報告会 P 14
- 小学校6年生の議場見学 P 15
- 箱根町百景めぐり・編集後記 P 16



町の考え方を問う！

一般質問



6月定例会では、町政全般について、10人の議員が、20項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、左の通りです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問内容	ページ
川口 延明	・箱根関所及び箱根湿生花園の集客等について	2
勝俣 陽二	・箱根町における食品残渣の再利用について	
折橋 尚道	・空き家対策について ・宮ノ下172番地の建物について、特定空家に指定し対策を講ずるべきでは	3
稲葉親太郎	・国道・県道・町道の維持管理を含む改修等について	
山田 成宣	・大規模開発に伴う森林伐採等、開発に伴う許可申請について ・町内における防犯カメラの設置の必要性について	4
勝俣 泰彦	・食品リサイクル循環プロジェクトについて	
鈴木 美貴	・有害鳥獣処理加工施設について ・ごみステーションの管理等について ・道路・観光インフラの安全確保と渋滞対策について ・持続可能なまちづくりについて ・救急対応と林野火災等について	5
丸子 英人	・町政の方針や計画策定に際し、外部有識者の活用状況及び外部有識者を含めた審議会等の運用と運営について	
勝俣 建吾	・空き家問題について ・病児・病後児保育事業について	6
山田 和江	・イラン戦争による更なる物価高騰と資材不足から町民の暮らしと営業を守ることにについて ・ガソリンスタンドの誘致について ・バス代の負担軽減について ・電話交換手の復活と広報はこねについて	7

※2次元コードを読み取ると、各議員の一般質問動画がご覧になれます。

箱根関所と湿生花園のお客様増に取り組むべき



川口 延明 議員



町

入園者の回復と増員に向けて取り組む

問 当町の観光施設は、大変良い立地の中にあるにもかかわらず、毎年収入が減っているがどうしてなのか。

答 **町長** 旅行会社などエージェンツの個別訪問や各種観光展でのPRに加え、集客の有効な手段であるSNS等各種媒体を積極的に活用するなどして、集客増に向けた努力を重ねている。

問 役場の職員は得意とする施設管理と館内営業の管理に専念して、集客に関することは、民間と同じく専門的なセクションを設置して誘客営業マンによる集客に努めるべきと思うが。

答 **企画観光部長** 議員さんの言われるように、一元的な誘客宣伝により各施設の横の繋がりが生まれ、相互に協力しながら、より効果的なPR・集客につながる可能性はある

と考えている。しかし町立観光施設等の営業部門となる専門的なセクションについては、町として、現時点で創設する考えは持ち合わせていない。いただいた意見を参考に、例えば、各種観光展などの共同PRなどの企画のほか、SNSやメディアによる情報発信も含めて、様々な機会・媒体による誘客宣伝活動について、既存の枠組みを最大限活用しながら積極的に集客に努めてまいりたいと考えている。



箱根関所 江戸口御門

町の将来のために、食品リサイクル施設の建設を



勝俣 陽二 議員



町 現実的でないと考えている

問 町内における食品残渣さんさの現状をどう受け止めているのか、町長の見解を伺う。

答 **町長** 本町の可燃ごみの大半を事業系ごみが占め、さらにその約半数が食品残渣であるという現状は、日本有数の観光地である本町特有の課題と認識している。事業系ごみ、とりわけ食品残渣の減量化と再資源化は、まさに喫緊の課題である。

問 町内における食品残渣をリサイクルし、近隣の小田原、三島の農家を対象とした肥料及び御殿場の養鶏業者に対する餌をつくる等、食の循環を確立し、そのリサイクルでできた飼料及び肥料で育てた豚肉、鶏肉、野菜、果物、卵等を町内の宿泊施設・飲食施設等で提供し、町における食品残渣を飼料化、肥料化できる食品リサイクル施設の建設を将来考えるべきではないかと思うが、町の見解を伺う。

答 **環境課長** 町営の施設として稼働させるためには、初期の莫大な設備投資及びその後の維持管理費用に加え、できあがった飼料や肥料を継続して使ってもらうという確実な販路の確保が最大の課題となることから、町独自の新たな食品リサイクル施設を建設することは、現実的でないと考えている。

※食品残渣：・宿泊施設や飲食店などの事業活動に伴って排出される調理くずや売れ残り、客の食べ残しなどの生ごみ

日本フードエコロジーセンター
食品リサイクルライン



倒壊寸前の空き家は、特定空家に指定するなどの対応を



折橋 尚道 議員



町 県西の統一基準によって、今後運用の予定

問 町には、特定空家に関する具体的な判断基準・対応方針はあるのか。

答 **町長** 県西2市8町で「県西地域管理不全空家等判断基準勉強会」が設置され、「国のガイドライン」「県の基準」を踏まえて、「県西地域の基準案」が取りまとめられた。空家等の諸課題に対応するため、「箱根町空家等対策庁内連絡会議」「関係各課による実務担当者会議」が設置され、今後「箱根町空家等対策推進協議会」において協議された後に運用される予定。

問 宮ノ下172番地の空き家は、倒壊寸前となっている。土地の所有者は箱根町であるので、地権者としてもしっかりとした対応をすべきではないか。

答 **町長** 本件は町村合併時からの問題であり、令和5年度

に直接面談した結果、家屋所有者も親から子への代替わりもあり、賃借人も退去し建物が老朽化するなかで、解体する意向を確認することができたが費用面の問題で、いまだ解決できていない。今後も、必要な措置を講じるよう所有者に対して粘り強く働きかけていく。

問 空き家の解決は、まちづくりに重要な問題であるため、新規策定を準備している「都市計画マスタープラン」に空き家に関する項目を入れるように提案する。

答 **副町長** 空き家問題は解決すべき課題であるので提案については検討する。



町道宮11号線、町道宮44号線の狭あい部分の拡幅及び橋梁の架け替え



稲葉 親太郎 議員



町

大型事業の完了後、順次計画していく

問 観光が主な産業である当町では、町民や観光客を始め多種多様な車輛が、重要なインフラでもある国道・県道・町道・私道等を往来しているが、近年の道路環境を踏まえて、町道宮11号線及び町道宮44号線の狭あい部の拡幅及び橋梁の架け替えについて町の見解を伺う。

答 **町長** 地元自治会からも要望を受けているものであるが、町では交通量や危険な箇所が多い道路などを優先して道路事業を実施していることから、大型事業の完了後、順次計画していく。

問 安全安心な道路環境保持においては、地元自治会からも前から要望が出ているので、できるだけ早い時期に計画等の対応が出来ないか伺う。

答 **都市整備課長** 当該町道の改良については、地域自治会か



町道宮11号線

ら要望が出ていることは承知している。町長答弁にもあったとおり、町道の改良については、交通量や危険な箇所が多い道路などを優先して実施していることから、これらの完了後、こうした道路整備の考え方に則り、順次計画していく予定。

大規模開発に伴う許認可



山田 成宣 議員



町

自然環境及び生活環境の保全・形成を念頭におき、今後も適切な指導監督を行う

問 大規模開発にともなう森林伐採等、開発の許可申請について

答 **町長** 開発事業を行う事業者に対しては箱根町開発事業指導要綱をもとに適切に指導を行っている。自然環境及び生活環境の保全・形成を念頭におき、環境省・神奈川県と連携を密に今後とも適切な指導監督を行う。

問 20年後、30年後の孫の世代を見据えて、現状の箱根ブランド以上の環境を保つため、大規模新規事業者と既存の歴史ある既存事業者が共存共栄できる協議体や支援制度といった行政としての取り組みが今後ますます必要になると思われるが、町の考え方を伺う。

答 **副町長** 今まで箱根において生業を営む老舗の旅館さんから新規参入の大規模ホテル等、それぞれがバランスを保ち共存することで

現在の箱根を支えていただいていると認識している。考えられる懸念を最小限に留める施策を継続的に今後とも取り組んでいく。



富士山と芦ノ湖

「食品リサイクル循環プロジェクト」の現状と参加施設拡大



勝俣 泰彦 議員



町 企業価値向上の仕組みを作り、事業者の参加意欲を喚起していく

問 フードロス及び食品残渣における現状認識は？

町長 可燃ゴミの約8割が事業系ごみで、令和5年度調査では約48%が食品廃棄物であり、生ゴミ処理機の導入等進めてきた。これにより、減量には一定の効果をあげたが、資源再利用の「真の循環」には至っていない。

令和6年度には湯本エリアの6施設で食品リサイクルプロジェクトの実証実験を開始、14日間で2,311kgを回収、令和7年度は12施設に拡大し、16日間で2,547kgを回収。

問 参加施設の拡大は？

町長 令和7年度実証実験では、小容量回収容器導入や

小型車で回収後、大型保冷車に積み替える仕組みを試行、食品残渣発生量が少ない小規模飲食店等でも参加できる



体制が整いつつある。相模原市にあるリサイクル施設までの「長距離運搬差額費用」は、令和8年度実証実験で運搬費補助を行い、事業者の皆様の参加意欲を財政面から支援していく。また、「食品資源循環」は新たなエコブランドになり得る。このような取組を箱根DMOのHP等により国内外に発信し、参加施設が環境に配慮する施設であることが選ばれる理由になる等、企業価値向上に直結する仕組みを創り、事業者の参加意欲を喚起していく。

救急対応と林野火災等

鈴木 美貴 議員



町 的確な医療機関へ搬送できる体制と地域内の状況把握に努め火災予防対策に生かしていく

問 コロナ禍以降最高となる観光入込客数が2,100万人を超え、救急出動や搬送が増加との一部報道があったが、救急出動件数と搬送人数、日本語がわからない外国人への現場における対応は？

町長 令和7年の出動件数は2,180件、搬送人員は1,911人。日本語によるコミュニケーションが取りづらい外国人観光客等への対応として、対応マニュアルにある文字情報による対応を行うほか、救急活動に対応した、33か国語で、医療関係用語の翻訳ができる「救急ボイストラ」で傷病者の訴えや既往歴、アレルギーの有無などを確認し、的確な医療機関へ搬送できる体制を構築している。

問 林野火災発生時における他機関との応援体制等について

町長 本町の森林面積は6,973ヘクタールで全面積の75%を占め林野火災が発生すれば、大規模化し被害が拡大する恐れがあり、その場合、人命が第一であることから、広報や警戒区域の設定、早めの避難誘導が重要であり、強風等により大規模化する恐れがあるときは、消防ヘリコプターによる空中からの消火が有効であることから、

神奈川県下消防相互応援協定に基づき、横浜、川崎市の消防局航空隊に出動を要請し、総務省消防庁へ救急消防隊への出動要請も想定している。



※この画像は生成AIにより作成したイメージです。実際の林野火災現場や消防・防災機関の活動写真ではありません。

外部有識者の活用、特に宿泊税導入に向けた議論は



丸子英人 議員



町
税制・財政の専門家と事業者、住民の3者で議論を重ねた

問 「観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議」の運営状況について伺う。

答 町長 町民や事業者等関係者の理解を得ながら合意形成することが肝要と考え、令和元年に検討会議を設置した。途中感染症禍による一時中断もあったが、地方税・財政の学識経験者や事業者、一般公募者を募り、合計18回の会議を丁寧かつ慎重に重ねてきた。本年5月25日に報告書が提出されたが、本町にとって重要な自主財源でもあることから、検討会議以外の場でも可能な限りの手法を用いて意見聴取を行った。報告書の提出を以って、一連の検討は一区切りと考えている。

問 検討会議は将来不足する財源をどのように補うかが議論の出発点だが、今後財源不足が見込まれる箱根町を担う若手の町職員から意見を

を聞くような組織運営はされたのか。

答 企画課長 総合計画策定に際しては若手職員に参画してもらうワーキンググループを設置したが、本件については設置していない。町としては若手職員が自発的に課題解決に取り組む機会を設けることが重要と認識しているの

で、検討課題の内容によつては、様々な検討体制を柔軟に選択していきたい。



観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議の様子

空き家問題と病児・病後児保育事業



勝俣 建吾 議員



町
空き家の活用促進に取り組む

問 空き家バンクの実績及び現在の状況について伺う。

答 町長 本町では、令和4年度からは、新たな空き家の掘り起こしや物件の活用提案、移住希望者とのマッチングなどきめ細やかな対応を行うため、空き家バンク制度を民間移住支援団体に業務委託して、さらなる制度の充実と民間連携の強化を図っている。こうした中で、これまでの実績について、制度開始以降、空き家バンクで成約等に至った件数は87件となっている。この結果については、民間移住支援団体に委託後は、定住希望者に物件を優先的に紹介するなどの取組が奏功し、移住・定住の面からも一定の効果があつたものと捉えている。

問 子どもが病気やけがで幼児施設等に預けられない場合がある。特に共働きや、ひとり親世帯で仕事を休めない時の対応について、町と

してできることはないか。

答 町長 現在の医療体制の中で、総合保健福祉センターさくら館や町内医療機関で病児・病後児保育事業を実施することは困難な状況にあると認識している。

今後は、小田原市など近隣自治体の病児保育施設における利用枠の確保や広域利用などの代替策についても、子育て世代の皆様が安心して働き、子育てができる環境づくりに向け、検討を深めていく必要があると考える。



箱根町空き家バンク ホームページ

再開予定のスタンド支援は 事業者向けか町民向けか？



山田 和江 議員



町 事業者の設備に対する補助を検討している

問 アメリカとイスラエルによる
イランへの攻撃による日本経
済への重大な事態が継続している。町
民の生活と営業を守るために、町とし
て影響をどのように把握しているか。
事業者の中には「コロナの時も打撃を
受けたが、またかという思いでいる」
と話されている。物価高騰の中、生活
困窮者と事業者に対する支援はどのよ
うに考えているか。

答 影響は表れていない
ととらえている。国において
生活保護世帯や年金受給世帯に対して
一定の対策を講じている。事業者など
の支援は必要と判断した場合は躊躇な
く実施していく。

町長 3月議会では町長から、「事
業者の誘致は諦めてはいな
い」との答弁があった。これに対して
町民の中で、ガソリンスタンド継続に
期待する声が上がっている。そこで、

タンクの更新に合わせて閉鎖されては
困るが、契約期間について、また、セ
ルフで24時間営業を行うのか。町が支
援を行うということだが、それは事業
者に対してか、あるいは、利用をもっ
としてほしいと町民に対してするのか
伺う。

答 **町民課長** 企業間の契約なの
で町は公表しないことになっ
ている。24時間営業ではない。町の支
援は事業者の設備の補助を検討してい
る。



議案第111号 教育福祉環境常任委員会（合同審査）

教育福祉環境常任委員会 委員長 川口 延明

令和7年12月定例会に上程された「議案第111号 箱根町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」（※事業系一般廃棄物の料金改定）は教育福祉環境常任委員会に付託されましたが、議員全員で協議すべき問題であることから総務企画観光常任委員会と合同で審査を進めました。町長から提出された内容について、現行のゴミ処理価格18円（1kg当たり）を25円にすることについては、昨今の経済状況を踏まえると致し方ないが、令和8年10月1日施行については、事業系一般廃棄物排出事業者等の会計年度等を考慮すると年度途中であり、会計年度が切り替わる令和9年4月1日が望ましいとの意見が多数出ました。委員会では町所管課や事業者代表とも協議し意見をまとめ、令和9年4月1日の施行（案）で町側に意見を提示しました。その結果、6月10日に開催された本会議初日に、町側から本件に対する議案の訂正が許可され、施行期日が令和9年4月1日となったことから、これを基に審査を行い、採決の結果、賛成多数により可決いたしました。



合同審査の様子

6月定例会（6月10日～19日）**議決件数（15件）****専決処分（2件） 承認****議案第39号 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度箱根町一般会計補正予算（専決第3号））**

令和8年3月31日付で専決処分。除雪関係経費の増加に対応するため、令和7年度箱根町一般会計補正予算（専決第3号）として歳入歳出それぞれ34,200千円を追加し、令和7年度予算総額を15,852,757千円とした。

議案第40号 専決処分の承認を求めることについて（箱根町町税条例等の一部改正）

地方税法等の一部を改正する法律（令和8年法律第2号）が令和8年3月31日に公布・4月1日施行されたことに伴い、主な改正内容として①軽自動車の購入時にかかる「環境性能割」の廃止、②再生可能エネルギー設備にかかる固定資産税軽減特例の期間延長、③ふるさと納税等の寄附金控除規定の整備について、箱根町町税条例等の一部を改正する条例を専決処分した。

条例制定・改正（4件） 可決**議案第41号 箱根町監査委員条例及び箱根町水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

地方自治法の一部を改正する法律（令和6年法律第65号）が令和8年9月24日から施行されることに伴い、現行条例の条文番号（第243条の2の8→第243条の2の9）を改める。

議案第42号 箱根町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴い、新たに交付される特定在留カード等を利用してコンビニエンスストア等の多機能端末機から印鑑登録証明書を交付できるよう、条例を改正。

議案第43号 箱根町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

災害その他非常の場合に、町長以外の水道事業者または指定を受けた者による給水装置工事の施行を可能とするため、現行条例を改正。

議案第44号 箱根町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正（令和8年政令第179号、令和8年5月27日施行）に伴い、葬祭補償額を315千円から330千円に引き上げる。令和8年4月1日以降に支給事由が生じた葬祭補償に適用。

補正予算（1件） 可決**議案第45号 令和8年度箱根町一般会計補正予算（第1号）**

歳入歳出それぞれ45,483千円を追加し、補正後の予算総額を14,268,483千円とする。継続費の変更および地方債の追加等を行う。

工事請負契約・物件供給契約（6件） 可決

※議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年条例第24号）に基づき提出。

議案第46号 粗大ごみ処理施設基幹的設備改修工事（工事請負契約）

契約相手方：株式会社神鋼環境ソリューション 東京支社 契約金額：201,300千円

令和8年5月20日に見積合せを実施し、落札。粗大ごみ処理施設改修事業の一環。

議案第47号 宮ノ下駐車場長寿命化改良工事（工区2）（工事請負契約）

契約相手方：株式会社勝俣組 契約金額：90,893千円

令和8年5月18日に見積合せを実施し、落札。

宮ノ下駐車場整備事業の一環。

議案第48号 仙石原町営住宅CD棟外壁及び屋根改修工事（工事請負契約）

契約相手方：株式会社勝俣工務店

契約金額：96,800千円

令和8年5月21日に一般競争入札を実施し、落札。

町営住宅整備事業の一環。



仙石原町営住宅CD棟

議案第49号 箱根関所復元再整備事業 復元施設再整備工事（工事請負契約）

契約相手方：株式会社勝俣工務店 契約金額：122,650千円

令和8年5月21日の一般競争入札が不調。5月25日に最低価格提示者と見積合せを実施し、落札。

議案第50号 小型動力ポンプ付積載車（第8分団・仙石原）購入（物件供給契約）

契約相手方：小川ポンプ工業株式会社 東京事務所

契約金額：21,340千円

令和8年4月27日に指名競争入札を実施し、落札。

消防車両整備事業（いすゞ エルフ ダブルキャブ 1台）。



（仮称）温泉地域診療所建設工事

議案第51号 （仮称）温泉地域診療所建設工事 工事請負契約の一部変更

契約相手方：株式会社勝俣組

契約金額：182,050千円 → 192,456千円（10,406千円増額）

設計内容の変更により請負契約金額を変更する。

【お詫びと訂正】

議会だより224号 7ページ、議案第33号 箱根関所復元施設再整備工事 設計内容変更の追加額に誤りがありました。正しくは「77万円追加」となりますので、お詫びして訂正いたします。

人事案件（1件）

同意

議案第52号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
塩川 嘉昭 氏（仙石原在住）を、令和8年6月26日の任期満了にあたり引き続き委員として選任することについて、議会の同意を求める。

議会議事案件（付託案件）（1件）

可決

議案第111号（令和7年）箱根町廃棄物の減量化、資源化および適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
廃棄物の減量化、資源化並びに適正な処理のさらなる推進及び受益者負担の適正化を図るための条例改正で、令和7年12月定例会において、教育福祉常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となった後、総務企画観光常任委員会との合同審査となっていたが、6月定例会において、施行期日が令和9年4月1日に変更され可決した。

議員別議案賛否一覧

議案採決表は賛否が分かれた議案のみ掲載をしています。そのほかの議案採決はすべて全員賛成で議決されました。
※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：議長は採決に参加しません。

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	勝俣建吾	鈴木美貴	丸子英人	勝俣陽二	川口延明	山田成宣	稲葉親太郎	折橋尚道	勝俣泰彦	沖津弘幸	村野由紀子
111 (R7)	箱根町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
42	箱根町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

議案の詳細等につきましては、こちらをご覧ください。

委員会活動報告

7/10 箱根町文化・スポーツ財団と議会との意見交換会

教育福祉環境常任委員会 委員長 川口延明

箱根町には外郭団体※として「(公財)箱根町文化・スポーツ財団、箱根町社会福祉協議会、箱根コンベンションビューロー、箱根町国際交流協会」があり、その中で町からの出資比率（2分の1以上）の割合を満たした団体である箱根町文化・スポーツ財団については、議会定例会で経営状況の報告が行われる。

文化・スポーツ財団は令和7年度には体験活動（8回）、公演（1回）、コンクールなどの各種事業（3回）や、文化・スポーツ団体への活動助成（20事業）を行い、箱根町の文化・スポーツの振興を図る活動を行っている。

今年度は6月19日の本会議に上程、説明がされたので、それを受けて教育福祉環境常任委員会で7月10日に社会教育センターにて、文化・スポーツ財団事務局長に出席を求め、6名の委員から8項目の質疑を行った。

主な内容としては

- ①体験活動事業における町外の文化施設を訪ねる会等について
- ②調査広報費について
- ③主催公演事業における音楽のつどい～クリスマスコンサート～の集客方法と来場者の内訳について
- ④令和7年度決算書における配当金の内容と近年の状況について等の質疑を行った。



質疑や意見交換を行いました！

※外郭団体・・・町が資本金または基本金等の25%以上を出資している法人

4/14・5/19・6/12

行財政改革調査特別委員会 中間報告

行財政改革調査特別委員会 副委員長 稲葉親太郎

当委員会では、4月14日及び6月12日に会議を開催し、箱根町観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議の報告を受け、専門部会による調査審議結果や宿泊事業者、観光客、町民向けアンケートの調査結果等を踏まえ協議しました。

検討会議では、宿泊客に負担を求めるこの新税を観光振興だけでなく、町民生活の向上につながる重要な財源と位置付け、令和10年度の実施を目指しています。運用にあたっては、税収の使い道を明確にする「透明性の確保」や徴収事務を担う宿泊事業者への丁寧な説明、そして、社会情勢に応じた「制度の検証」が必要であります。

また、5月19日には、既に宿泊税を導入している熱海市へ全議員で視察を実施しました。

最終的には、宿泊以外の観光客からも広く負担を求める手法を継続して研究し、観光と住民生活が調和した持続可能なまちづくりが実現することを期待します。



6月12日 行財政改革調査特別委員会



5月19日 熱海市議会議員と玄関前で



5月19日 熱海市宿泊税研修会

6/12

行財政改革調査特別委員会 横浜国立大学との連携取組

行財政改革調査特別委員会 副委員長 稲葉親太郎

「横浜国立大学との連携取組事例発表会」が開催され、全議員が参加しました。

当日は、横浜国立大学経済学部伊集ゼミの学生による箱根町の宿泊税導入に向けた合意形成プロセスの研究をテーマとした成果の発表が行われ、各議員から発表内容に関する質疑や意見交換を行うなど、箱根町の財政の特徴や特殊性に関して活発な議論を交わし、お互いの理解や交流を深めました。

学生の研究成果も参考にしながら、当委員会においても調査・研究を継続し、これからも鋭意取り組んでまいります。



横浜国立大学の学生による発表会の様子

議 員 活 動 報 告



皆さんの日常的な活動に参加し、報告していきます。情報をお待ちしています！



5/24

箱根湿生花園 開園50周年

日本で初めての「湿原の植物園」として昭和51年に開園し、令和8年5月21日に開園50周年を迎えました。

開園当時の写真や図面のパネル等、50年のあゆみが特別展示されています。〔3月20日(金)～11月30日(月)〕

(勝俣建吾)



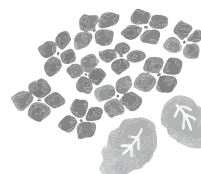
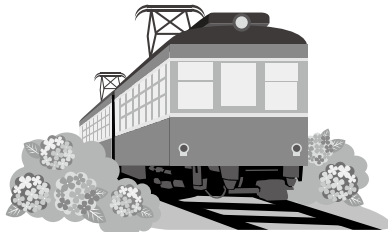
5/26

箱根ジオミュージアム 箱根の登山道展

石や植物など、個人の興味に沿った新しい箱根の楽しみ方を見つけてもらおうと企画展「箱根の登山道展」が開催されています。〔8月31日(月)まで〕

会場では、箱根火山の成り立ちや地形等を実際に歩いて感じられるコースや富士山や芦ノ湖などの絶景スポットが紹介されています。

(勝俣建吾)



6/4

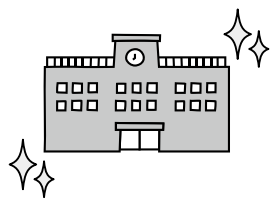
お玉ヶ池地区 町有林樹下植栽

箱根の山々の自然景観保全と広葉樹林化を進めるため、恒例となっている町有林の植栽に多くのボランティアに混じって汗をかきました。

約400本の苗木を手分けして、スコップ片手に「山桜・ヤマボウシ・いろは紅葉・姫シャラ」の苗木を植栽しました。

(折橋尚道)





6/28

湯本小学校 見学会

明治5年に開校し、154年の歴史のある湯本小学校が、令和6年度から約2年間にわたる校舎長寿命化改良工事が終わり、卒業生に母校に足を運んでもらい、“生まれ変わった”学校施設の見学会が開かれ、多くの卒業生が訪れ新しくなった校舎を見て回っていました。

(鈴木美貴)



5/30

箱根火山の息吹を感じよう！ ～Enjoy! 箱根ジオパーク～

2026年度 箱根地域 富士箱根伊豆国立公園 自然に親しむ運動が4月から11月に計8回行われ、今回は箱根ビジターセンターをスタートし、サンショウバラ等の初夏に咲く花や金太郎岩・船見岩、大涌谷など箱根火山活動の痕跡を巡りました。

(鈴木美貴)



7/11

神奈川県消防操法大会

足柄下郡3町を代表して箱根町消防団第2分団(湯本)がポンプ車操法の部で出場しました。気温が高く熱中症が心配される中、一生懸命取り組んでいる姿に感動しました。

長期間、練習を積み重ねてこられた代表団員をはじめ関係者の皆様、大変おつかれさまでした。

(勝俣建吾)



7/7

音楽とお祭りで楽しむ交流会

町が昨年度から実施している、「若者の交流の場を創出する事業」ハコネ★ナイト 2026が開催され、在住・在勤の20代～40代、約30人が箱根小涌園ユネッサンに集まり、飲食しながら、FMヨコハマ番組パーソナリティ DJ帝さんのトークと音楽でイベントは盛り上がりしました。

(鈴木美貴)

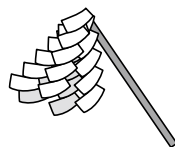


7/15

津嶋神社天王祭(湯立獅子舞)

宮城野諏訪神社の境内にある津嶋神社の祭神は牛頭天王で、そのお祭りが7月15日行われました。湯立獅子舞は、江戸時代安永5(1776)年に仙石原と同時期に現在の富士吉田市から伝わったとされています。

(稲葉親太郎)



7/12

天王神社 祭典

山崎地区に祀られている、牛頭天神社を清掃した後に恒例の祭礼が、執り行われました。

地域にとって、夏の重要な行事の一つであり、疫病退散と厄除けを願い山伏によるご祈禱が執り行われます。牛頭天神社についての詳細は、巻末の「箱根町百景めぐり」に紹介されております。

(鈴木美貴)





5/26

全国町村議会議長会 令和8年度町村議会議長・副議長研修会

去る5月26日東京国際フォーラムにて開催された、全国町村議会議長会 町村議会議長・副議長研修会に村野議長、稲葉副議長が出席いたしました。

当日は、全国町村議会議長会 中本会長の挨拶に続き、一般財団法人地域活性化センター 理事長 はやしぎ きおさむ 林崎理氏による「地方創生の先行き」に続いて、東海大学教養学部人間環境学科 まんじょう めいさお 万城目正雄 教授による「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」の講演を聞き、最後に京都女子大学 学長 たけやす ひでこ 竹安栄子 氏による「男女共同参画で地域を元気に」、「女性模擬議会の取組」を聞きました。

今回のセミナーのテーマは、地方創生と外国人材の確保と育成、そして男女共同参画でありました。今後とも箱根町における2元代表制の議会において、町民に開かれた議会を目指し、町民福祉の向上につながるよう議会活動に取り組んでまいります。

(稲葉親太郎)

議長フォトレポート

5
27水

全国町村議会議長会
都道府県会長会

6
18木

はつらつ
スポーツ大会

7
7火

国土交通省 水嶋事務次官
あいさつ

9月定例会開催日（予定）

本会議 8月25日、9月1日、4日、8日、10月2日

決算特別委員会 9月11日、15日、17日

※ 8月18日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。
詳しくは、議会事務局（☎85-9570）までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

議会報告会

実施日時 令和8年6月24日 18時開催
場 所 総合保健福祉センター さくら館



はじめに、本年度予算（総額212億9,400万円）の概要と、町の将来像を実現するために掲げた、6つの基本目標の重点事業について、各担当常任委員長から説明を行い、ご参加の皆様との質疑応答および意見交換を行いました。
(主な内容は以下になります。)

【歳入】

入湯税の徴収額増額について検討する事や、別荘に対する税、法人税均等割のあり方に関する意見や質問を受け、議会側から宿泊税の導入に至る経緯と今後の方針についての説明を行いました。

【歳出】

生涯学習フェスティバル開催事業について、地域の理解醸成を問う厳しいご指摘や、予算の増額を承認した経緯について質問があり、9月に上程される決算を踏まえて検証していく旨を伝えました。

このほかに、温泉地域診療所の開業時期、旧箱根観光物産館跡地の利活用、公衆トイレの有料化など身近な話題から、バス運賃の値上げや路線変更による乗り換え問題、コミュニティバス導入を求める声など、幅広いご意見をいただきました。

公共交通については、運転手不足という構造的な課題の中、1市3町（小田原市・箱根町・湯河原町・真鶴町）共同での運転手募集などの取り組みを説明するとともに、議会としても引き続き注視してまいります。

いただいたご意見は、今後の議会活動に活かすとともに、1人でも多くの皆さまが町政や議会活動、報告会等に関心をもっていただけるように検討してまいります。



報告会の様子

小学校 6年生

地方自治学習・議場見学

私たちは6年生になると「地方自治」について勉強することになっています。6月10日(水)は町内の小学校4校が役場に集合し、議会の傍聴や役場を見学しながら、議会の役割や仕組みについて勉強しました。

それでは、各学校からの感想を読んでください。



役場食堂で
事前オリエンテーション



傍聴席から議場を見学



議員控室にて



正副議長室を体験！



役場正面玄関で質疑応答

【湯本小学校】

- 議長が中心になってたくさん箱根のこの話を
して、私たちのことを考えている本会議で
した。見学した議会にあこがれたので、大人
になったらこのような会議に参加できるように
がんばりたいです。

【仙石原小学校】

- 町民が選挙で選んだ人たちが、議会で話し
合って自分たち町民のことを決めているという
場面を見て、給食が無償で食べられていること
や安全に暮らすことができていることにありが
たいと思いました。

【恵明学園】

- 議場はとても静かで驚きました。たくさん人が
いて難しいことを言っていました、とても貴
重な体験ができました。
- 内容は半分くらいしか分からなかったけれど、
箱根町の政治に関心をもててよかったです。
また、政治の仕組みを知ることができました。

【箱根の森小学校】

- 皆さんが真剣で聞き取りやすい声で話し合っ
ていてすごかったです。16時ころまでやること
にもビックリしました。町のために議会で話し
合ってくれるのは、すごいです。

箱根町百景めぐり



山崎の 牛頭天王神社



牛頭天王は、インドの祇園精舎(釈迦が説法をした僧院)の守護神が日本に伝わり、神仏習合によって日本独自の尊格となったもので、疫病退散や厄除けの神として祀られるようになったとされ、天照大神の弟で、その力強さから疫病を鎮め、地域を守護する神として信仰された素戔嗚尊と同一視されるようになり、祇園信仰の神として、京都八坂神社をはじめ全国の祇園社、天皇社で祀られています。



国道から神社に向かう道



神社入口



直会で食した
きゅうりの酢の物



牛頭天王・素戔嗚尊の
祇園信仰を代表する
「五瓜に唐花
(祇園木瓜)」の図柄



祈禱の様子



箱根板橋の牛頭天王神社



明治時代に作られた
118 段の石段



境内にある牛頭天王碑



山伏による祈禱

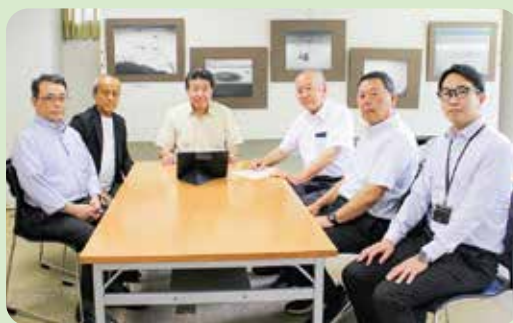
山崎の牛頭天王神社は、山崎地区と小田原市入生田の境に祀られ、かつて旧湯本村全体の守り神として村全体で祀られていました。明治26(1893)年には118段の石段が造られ、当時の湯本村全体の75人の寄付で賄われ、境内地の牛頭天王碑の裏に、世話人29名の名前が刻まれています。

社紋「五ツ木瓜」はきゅうりの断面に似ており、昔は初物のきゅうりを天王様に供えてから、社紋と同じ形にならないよう、きゅうりを輪切りにせず斜めに切り食べたことから、祭礼後の直会には必ずきゅうりを供える風習が今も息づいています。

毎年7月、京都 今泉 八坂神社例大祭の頃に、地域の人たちが神社に続く階段や境内を清掃し、しめ縄と紙垂を鳥居に付け替え、秋葉山量覚院の山伏によるご祈禱が行われ、きゅうりを使った酢の物などを食して、1年間の無病息災を願います。
(鈴木美貴)

編 集 後 記

今夏も町内各地では地域のお祭りや、様々な観光イベントが展開されています。広報広聴委員会では「議会だより」の紙面構成について、議会報告を中心に、町内各地域のお祭りやイベントも紹介していく方針で編集しています。今の箱根町で起きている様々な事柄を、分かりやすさと読みやすさを意識しながらお伝えできればと考えています。(丸子英人)



広報広聴委員会

委員長

鈴木 美貴

副委員長

折橋 尚道

委員

丸子 英人 稲葉 親太郎

川口 延明